

Tax & Law ーキャッシュ・フロー計算書ー

今回からは、キャッシュ・フロー計算書について解説していきます。

決算書の損益計算書の利益を見て、「1年間でこれだけ利益が出ているのに、お金がどうも残っていない。どこに行ったのかな。」と思うことはありませんか。このようなときは、「キャッシュ・フロー計算書」でお金の流れをみましょう。

1. 資金の増減額とその要因をつかむ

決算書の貸借対照表と損益計算書だけでは、資金の増減についての情報を直接導き出すことはできません。貸借対照表では借方に資産、貸方に負債と純資産の残高が表示されており、ストック情報が分かります。前期と当期の貸借対照表を比較することにより、当期において資金がいくら増減したのかを把握することはできます。しかし、その資金の増減がどのような要因によってもたらされたかを把握することは困難です。

そこで、企業の資金の増加と減少の内容を、企業活動の内容ごとに表わした「キャッシュ・フロー計算書」が必要となるのです。企業活動の内容としては、営業活動、投資活動、財務活動等があり、その区分ごとにキャッシュ・フローの増減内容を記入します。

簡単な「キャッシュ・フロー計算書」の例を示すと以下のようになります。

株式会社×× キャッシュ・フロー計算書
平成25年4月から平成26年3月まで（単位：千円）

営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	10,000	損益計算書より
減価償却費	1,600	損益計算書より
売上債権の増減額	△500	前期・当期の貸借対照表の売上債権の差
仕入債務の増減額	700	前期・当期の貸借対照表の仕入債務の差
法人税等の支払額	△3,000	当期中の法人税等の支払額
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,800	
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産等の取得による支出	△8,000	当期中の有形固定資産の購入額
有形固定資産等の売却による収入	500	当期中の有形固定資産の売却額
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,500	
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入返済による支出	△5,000	当期中の借入金元本返済額
借入による収入	3,000	当期中の借入金調達額
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,000	
現預金の増減額	△700	
現預金期首残高	5,000	前期貸借対照表の現預金残高
現預金期末残高	4,300	当期貸借対照表の現預金残高